

農業技術センター普及指導部作物関係情報

タイトル：水稻の生育状況（7月5日現在）について

発信日：平成28年7月6日

1 内容

・キヌヒカリ

〈6月上旬植え〉

平年値（平成18～27年までの過去10年平均）と比べ、草丈は「同等」、茎数は「同等」、葉色値は「同等」となっており、生育は平年並みに推移している。

〈6月中旬植え〉

平年値と比べ草丈は「低い」、茎数は「やや少ない」、葉色値は「やや淡い」となっており、生育は同等～やや遅れている。

・はるみ

〈6月上旬植え〉

キヌヒカリと比べ、草丈は「同等」、茎数は「多い」、葉色値は「同等」となっている。

〈6月中旬植え〉

キヌヒカリと比べ、草丈は「高い」、茎数は「多い」、葉色値は「やや濃い」となっている。

・さとじまん

〈6月上旬植え〉

平年値と比べ、草丈は「同等」、茎数は「同等」、葉色値は「同等」となっており、生育は平年並みに推移している。

〈6月中旬植え〉

草丈は「同等」、茎数は「多い」、葉色値は「同等」となっており、生育は平年並みとなっている。

- ・出穂期は、現時点の生育と今後の気象予報からほぼ平年並み～やや早いと予想される。

2 留意事項

今後の水稻の技術指導においては、次の点に留意して実施する。

(1) 気象

気象庁が7月2日に発表した1か月予報では、気温は平年より高く、降水量及び日照時間はほぼ平年並みの見込みである。

(2) 水管理

中干しは、別表の農業技術センターの平年値を目安に、生育と天候に応じて対応する。最高分けつ期（出穂期の1ヶ月前）頃に、5～7日程度水を切り、土壌表面に軽いひび割れができる程度に干す。

(3) 害虫防除

- ・ウンカ・ヨコバイ類

地域によっては昨年よりウンカ・ヨコバイ類の発生が多くみられる。縞葉枯病の発生が目立つ場合は、追加防除を行う。

- ・イネツトムシ

防除適期は、粒剤でふ化最盛日の5日前、その他の薬剤でふ化最盛日から5日後程度である（県内各地域の予測ふ化最盛日は病虫害防除部のホームページ参照）。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f450002/p1049081.html>

- ・スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）

発生地域では周辺への拡大防止のため、水田周辺や水路の貝を捕殺するとともにピンク色の卵（卵塊）は潰したり、水に落とす。また、水田内への侵入を防止するため、水口に6～9mm目合いの網を設置する。



スクミリンゴガイ

スクミリンゴガイの卵塊

網の設置の様子

(4) 雑草防除

雑草の発生が多い場合は、バサグラン粒剤・液剤、ワイドアタックSC、クリンチャーバスME液剤等を使用上の注意に従って施用する（**収穫前日数には注意**）。

(5) 農作業安全

気象庁によると、1か月予報は平年よりも高温になる見込みであることから、農作業中の熱中症に注意をする。熱中症の予防には日中の気温の高い時間帯を外して作業を行うとともに、休憩をこまめにとり、作業時間を短くする等作業時間の工夫を行う。水分をこまめに摂取し、汗で失われた水分を十分に補給するとともに、帽子の着用や、汗を発散しやすい服装をする。

【参考】

◎農業技術センター（平塚市）における平年値（概ねの目安）

作期	品種名	中干し時期	穂ばらみ期	出穂期
5 月 下 旬 植	キヌヒカリ	7月7日頃	7月23日～8月6日頃	8月6日
	さとじまん	7月14日頃	7月30日～8月13日頃	8月13日
6 月 上 旬 植	キヌヒカリ	7月10日頃	7月26日～8月9日頃	8月9日
	はるみ*	7月11日頃	7月27日～8月10日頃	8月10日
	さとじまん	7月17日頃	8月1日～8月16日頃	8月16日
6 月 中 旬 植	キヌヒカリ	7月17日頃	8月1日～8月16日頃	8月16日
	はるみ**	7月17日頃	8月1日～8月16日頃	8月16日
	さとじまん	7月22日頃	8月6日～8月21日頃	8月21日

・穂ばらみ期は、出穂期約 15 日前～出穂期までの期間。水稻が最も水分を必要とする時期であるため、水田の水を保つようにする。

・5月下旬植については、平成 14～18 年（5 年平均）のデータに基づく。

*；平成 20～24、26、27 年のデータに基づく。**；平成 21 年～24、27 年のデータに基づく。

<p>連絡先 農業技術センター普及指導部作物加工課 平塚市上吉沢 1 6 1 7 T E L : 0463-58-0333 内線381～384 F A X : 0463-58-4254</p>
--